

# 日比谷歯科新聞 6月号

「歯はキアラからケアの時代へ」

近年、病気になってから、より悪化することを予防する「早期発見・早期治療(キアラ)」という考えから、病気になる前に適切に「手当て・手入れ(ケア)」する、すなわちメインメンテナンスすることで病気を未然に防ごうという考え方に変わってきました。

メインメンテナンスが早いほどよりよい状態で保たれる

メインメンテナンスとは、「維持」「保守」「管理」といった意味で、治療により治療した状態をより長時間維持し再発しないことを目的に、診察や検査の他、歯科衛生士による専門的なケアやブラッシングの確認を定期的に行うことをいいます。

むし歯や歯周病の治療(処置)をしたあとは、その状況を維持し、それ以上進行し悪化させないように、適切にメインメンテナンスを行ないます。

しかし、一度むし歯や歯周病になってしまうと、治療により歯の機能を回復することはできませんが、失った歯や骨が元の姿にもどることはありません。メンテナンス介入のタイミングは、早ければ早いほど、より良い状態で保たれるといえるでしょう。



メンテナンスをすると!!!

メンテナンスをしないと...



放置したからといって必ずしもむし歯や歯周病になるわけではないけど、悪くなってから対処するよりより良い状態でキープできるってことね!